

臨床総合実習 I (評価・治療)

【科目名】作業療法総合実習 I (評価・治療)		【担当教員】北上守俊、作業療法専攻教員 (メールアドレス) kitakami@nur05.onmicrosoft.com (オフィスアワー) 月曜～金曜、8:30～18:00
【授業区分】 専門分野 (臨床実習)	【授業コード】 4-25-0990-0-1	
【開講時期】4 年通年	【選択必修】必修	
【単位数】8 単位	【コマ数】184 コマ	
【注意事項】 (受講者に関わる情報・履修条件) 実習前に開講されている科目の単位を、すべて修得しておくこと。 実習の手引きを熟読しておくこと 事前に実習施設に関わる情報を収集し、必要な資料等を準備しておくこと。 (受講のルールに関わる情報・予備知識) 実習施設へ行く前に、身だしなみを整えること。不適切な身だしなみと判断された学生については実習を認めないことがある。臨床総合実習 II 終了後は、学内にて症例発表を行うため、症例報告要約の準備を行うこと。 実習中に事故・事件その他の問題が起きた場合は、直ぐに実習先のスタッフ及び本学へ連絡すること。		
【講義概要】 (目的) 臨床総合実習 I の後に臨床総合実習 II を実施する。臨床総合実習 II の目的は臨床総合実習 I とほぼ同様である。患者を適切に評価、統合解釈、問題を把握し、その問題に応じた作業療法プログラムを設定し、実施する。さらに、再評価により治療効果を科学的に検討し、より良い治療法を選択できる能力を高める。また、作業療法の社会的役割とチームワークの重要性、倫理的、法的責任を理解し、作業療法実施上の総合的能力を高める。 (方法) 臨床総合実習 I は 4 年次に 9 週間行う。9 週間のうち 8 週間は医療施設に赴き、臨床実習指導者のもとで実習を行う。1 週間は学内実習を中心とする。医療施設での実習後 1 週間は、専任教員のもと学内実習を行う。		
【一般教育目標(GIO)】 作業療法士として対象者の障害に応じた評価と治療について修得する。 作業療法士に必要な問題解決能力を身につける。 作業療法士としての業務について把握し、専門職としての態度や行動を身につける。 【行動目標(SBO)】 障害に応じて適切な評価を実施し、問題点の把握を行う。 問題点に対して、治療を立案し実施する。 作業療法士に必要な業務を把握し遂行する。 感染対策、事故防止を実践する。 作業療法士の社会的役割を認識する。		
【教科書・リザーブドブック】 実習の手引き		
【参考書】 編集・市川和子、作業療法臨床実習とケーススタディ (第 2 版)、医学書院、2011 年、¥4,200 (税別)		

平成 26～28 年度入学者用

【評価に関わる情報】									
(評価の基準・方法)									
成績評価基準は本学学則規定のGPA制度に従う。									
臨床評価実習のGPA、実習中の課題、事例報告の内容から総合的に評価を行う。									
評価基準の詳細は「実習の手引き」に記載する。									
【達成度評価】		試験	小テスト	レポート	成果発表	実技	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合		0	0	10	10	80	0	0	100点
評価指標	取り込む力・知識			5		20			25
	思考・推論・創造の力			5		20			25
	コラボレーションとリーダーシップ								5
	発表力								5
	学修に取り組む姿勢					40			40
【授業日程と内容】									
回数	講義内容		授業の運営方法		学修課題(予習・復習)		時間(分)		
学外実習									
1・2	オリエンテーション(学内実習) 臨床総合実習Ⅰの目的、注意事項、提出書類の確認、事故防止、感染予防等		セミナー		施設調査 自己課題の確認				
3～12	臨床総合実習Ⅰ(学内セミナー)		セミナー		配布資料を読んでおく。 評価学および治療学の内容を復習しておく。				
学外 1 週目	臨床総合実習Ⅰ 施設見学、作業療法現場見学、症例紹介、情報収集、作業療法評価実施、記録・報告		実習		デイリーノート、その他				
学外 2 週目	臨床総合実習Ⅰ 情報収集及び作業療法評価実施と修正		実習		デイリーノート、その他				
学外 3 週目	臨床総合実習Ⅰ 情報収集及び作業療法評価実施と修正、治療プログラム作成		実習		デイリーノート、その他				
学外 4 週目	臨床総合実習Ⅰ 治療実施、記録・報告		実習		デイリーノート、その他				
学外 5 週目	臨床総合実習Ⅰ 治療実施、記録・報告		実習		デイリーノート、その他				
学外 6 週目	臨床総合実習Ⅰ 治療実施、記録・報告、作業療法再評価、事		実習		デイリーノート、その他				

平成 26～28 年度入学者用

	例報告書作成準備			
学外 7 週目	臨床総合実習 I 治療実施、記録・報告、作業療法再評価、事例報告書作成準備	実習	デイリーノート、その他	
学外 8 週目	臨床総合実習 I 事例報告書作成、実習指導者よりフィードバックと総括	実習	デイリーノート、その他	
13～23	専任教員からの指導、症例報告(学内実習)	セミナー	グループ課題、課題提出	

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※ここに示す学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の 3 倍)に含むべき時間を示します。